

令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要と対策について

仲秋の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度の全国学力・学習状況調査は3年生を対象に、4月18日に国語・数学・英語、28日に英語（話すこと）の3教科で実施されました。先日その結果が届きましたので、本校の調査結果の概要と今後の対策等についてお知らせいたします。

なお、全国学力・学習状況調査は、以下の目的により行われ、学力の一面をはかるものであり、この結果が学力の全てを表すものではないことをご理解願います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 学力調査の結果（概要）

国語：全国・熊本県の平均を僅かに下回っている。
 数学：全国・熊本県の平均を下回っている。
 英語：全国・熊本県の平均を下回っている。
 英語（話すこと）：全国の平均を僅かに下回っている。

3 学習状況調査の結果（概要）

本調査は、アンケート形式で、学習の様子や生活面等について質問したものです。全国平均と比べて、特徴的な傾向がつかめる項目のみを紹介します。

＜望ましい傾向＞

*全国平均を5ポイント以上回る

- 先生は自分のよいところを認めてくれていると思う。
- 将来の夢や目標を持っている。
- 読書が好きだ。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- 授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

＜改善したい傾向＞

*全国平均を5ポイント以上下回る

- ▲学校の授業時間以外に、平日に2時間以上、家庭学習(学習塾、家庭教師、インターネットを活用した学習等を含む)をしている。
- ▲1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
- ▲今住んでいる地域の行事に参加していますか。

4 全国学力・学習状況調査結果を受けての今後の取組について

学力調査の結果を見ると、国語は概ね良好な結果を得ることができました。

数学に関しては、全国及び県の平均を下回ったものの、「数学の勉強が好き」「数学の勉強は大切だと思う」と答えた生徒の割合は高く、また、英語に関しても「英語の勉強は大切だと思う」「将来、社会に出た時に役に立つと思う」と答えた生徒は全国平均を上回っており、今後の課題克服により、さらなる向上つなげたいと考えます。

本校では、本調査結果を詳しく分析し、課題や改善点を把握し指導法等を見直ししながら、授業改善に努めてまいります。さらに、10月に行われる熊本県共通テストに向けて、学校総体で3年生の学力充実に取り組み、一人一人の希望する進路の実現に向けて努力していきたく考えます。

また、学習状況調査の結果からは、夢や希望を持ち、物事に前向きに取り組むことのできる生徒が多いことが分かりました。しかし、家庭学習の時間が短いことや、自分の考えを分かりやすく伝えるための工夫等の課題も見えてきました。

今後は、各ご家庭の協力を得ながら、受験生としての自覚を持たせ、家庭学習の充実を図るとともに、子どもたちが主体的に学ぶ授業や安心して学び合える学習環境作りに取り組んでまいります。

これからも、保護者の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。